広報 なかさと

毎月10日発行　定価10円
1/10 1984
《No.330》

福を呼ぶ宝船作りに励む

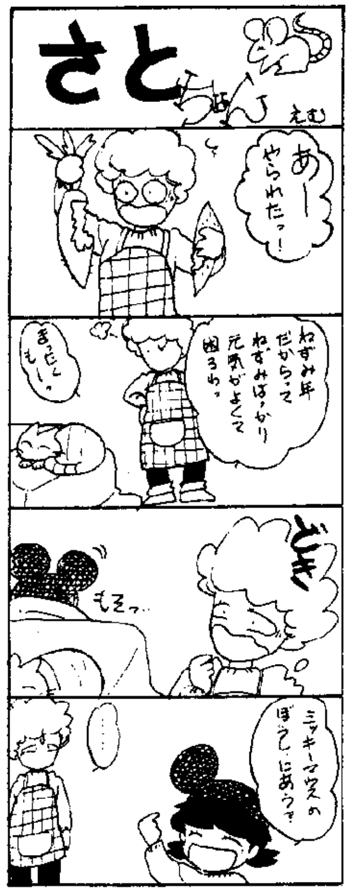
《主　な　内　容》

2〜3ページ…村長抱負・座談会
4〜5ページ…伸びゆく林道
6ページ…総合開発計画(案)審議会へ諮問
7ページ…校章決まる
8ページ…新婚さんいらっしゃい
商工会館オープンフェスティバル
9ページ…農業に生きる
行事予定表
10ページ…お知らせ

私たちの村の
(　)内は前月比

■人　口 7,081 (＋1)
男 3,508 (−2)
女 3,573 (＋3)
■世帯数 1,647 (　0)

■編集発行　中里村役場総務課　〒949-84 新潟県中魚沼郡中里村大字田沢己2133番地　TEL (0257) 63−2511


さと ちゃん
えむ
あ〜 やられたっ！
まったくもー
ねずみ年だからって ねずみばっかり元気がよくて 困るわっ
どき
もそっ…
……
ミッキーマウスの ぼうしにあうっ？

認可保育所 入所面接相談のご案内

★募集人員
南保育所（三歳未満児　二十人／三歳以上〜　八十人）
中里保育所（三歳未満児　十四人／三歳以上〜五十六人）

★面接日　一月二十五日
（九・〇〇〜十二・〇〇）芋沢、田沢本村、東田沢、如来寺、豊里、桂、田中、小原、干溝
（十三・〇〇〜十七・〇〇）上山、荒屋、山崎、通り山、き梗原、高道山、朴木沢、朴木沢新田、市之越、鷹羽、白羽毛、程島、東田尻、芋川新田

★面接場所
役場三階　議場

なお、指定された日時にどうしても都合のつかない人は、社会福祉課まで連絡をください。（六三—三一五二）

御陣荘に無料休憩室が

御陣荘では、二階ロビーの続きに無料休憩室を設置いたしました。テーブルと椅子がありますので、どなたでもお気軽にご利用ください。

また、御陣荘も消防法による㊜マークを受けましたので安心してご利用ください。

十日町広域事務組合

幸せなお二人さん 婚前学級へどうぞ

健康で明るい家庭を築くための第一歩として、ぜひ婚前学級においでください。

★日時　二月二十一日
午後七・〇〇〜

★場所　保健センター

詳しくは、役場健康管理室まで。（六三—三一五二）

定時制生徒募集

十日町高等学校

★募集定員
普通科　第一学年四十名

★願書受付
三月十六日まで　検査教科は国語、社会、数学、理科、英語の五教科

★出願手続
入学願書、受験票、調査書、入学考査料（三百五十円の県収入証紙）を在学、（出身）中学校長を経て十日町高等学校長に提出してください。

詳しくは、十日町高等学校定時制へ。（五三—三五七五）

高等通信教育で学びませんか

県立新潟高等学校通信制生徒募集

★応募資格
中学校卒業、または、これと同等以上の資格を有する者（年齢を問わず）

★募集コース
○卒業コース
○科目別コース（一部教科のみ履修を希望する者）

★願書受付
二月二十一日〜四月十日

★選抜方法
出身中学校（高校）から提出をされる書類をもとに選考し、学力検査は行わない。

★入学案内・入学願書の請求方法
返信用封筒に七十円切手をはり左記へ。

新潟市関屋下川原町二丁目六三五番地　新潟県立新潟高等学校通信制
（〇二五二—六六—五三六八）

NHK学園 高等学校入学案内

NHK学園には、高校コース・教養コース・社会通信講座があります。

高校コースと教養コースは放送視聴による家庭での学習が主体ですから、働きながら勉強をすることができます。

★募集期間
三月一日〜四月十四日

詳しくは、総務課まで。

善意をありがとう

次の善意が社会福祉協議会へ寄せられました。

小原　樋口広光さん　三万円
中里村婦人連絡協議会代表樋口ヒサさん（ガラクタ市）三万九千二百六十円

たいへんありがとうございました。

産業別最低賃金

効力発生日58年12月15日

〈食料品製造業〉

1日…3,465円　時間給労働者 1時間434円

ただし、手作業による洗びん、包装、箱詰め、魚介類の内臓取り出し若しくは殻出し、又はレッテルはり、清掃、片付け、賄いその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者については　新潟県最低賃金の3,151円(時給者394円)を適用。

〈出版・印刷・同関連産業〉
（速記・筆耕・複写業を含む）

1日…3,634円　時間給労働者 1時間455円

ただし、次にかかげる労働者については

1日…3,288円　時間給労働者 1時間411円

①雇入れ後6月未満の技能習得中の者。②印刷物の整理、はさみ込み、封筒入れ、帯封、清掃、片付け、賄いその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者。

〈卸売業・小売業〉

1日…3,385円　時間給労働者 1時間424円

ただし、①飲食店②清掃、片付け又は賄いの業務に主として従事する者については　新潟県最低賃金の3,151円(時間給394円)を適用。

みなさん おみのがしなく！

■母親学級
1月20日／上村病院／12:30〜13:00／産褥と赤ちゃんの保育
2月17日／上村病院／12:00〜13:00／妊娠中の保健（中期）

■妊婦検診
1月20日／上村病院／13:30〜14:00
2月17日／上村病院／13:30〜14:00

■婚前学級
2月21日／保健センター／19:00〜

■産後検診
3月9日／保健センター／13:00〜14:00
S58.9.1〜58.12.31の間に出産した人

◆編集後記◆

▼あけましておめでとうございます。今年は子年です。ねずみのようにチョコマカと村内を回って取材をし、親しまれる広報紙にしたいと考えています。みなさんからの意見や情報をお待ちしています。

▼今年は、村の将来を計画する中里村総合開発計画が策定されます。これを契機にみんなで村の将来を考え意志の統一を図り住みやすい郷土建設を進めましょう。

これからの商店街づくりを考える

昨年新しい商工会館が完成しました。今後この商工会館をいかに活用し、中里村の商工業の振興を進めていくかが大きな課題です。今回は、商工会青年部と商工会経営指導員による座談会を計画し、現状の問題点や今後の方針を伺ってみました。

〈出席者〉
商工会青年部長　太島 [illegible]
副部長　斎喜 [illegible]
〃　片桐 [illegible]
経営指導員　長谷川 [illegible]
司会　役場総務課広報係長

司会　中里村の商業全般を見ますと厳しいというのが現状のようですが皆さんはどのようにお考えですか。

太島　村内の消費支出の停滞している中で、最近四社の工場が中里村に進出してきました。ここに勤める人たちの中には、水沢、土市、辰之口方面から通っている人もおり、村内で買物をして帰るケースが見受けられ明るい材料の一つだと思います。村外に流出の最も激しいのは服飾、アクセサリー、スポーツ用品などの買回品です。

片桐　なぜ、村内での消費が落ち込んでいるかといいますと、消費者のニーズの多様化と買物をレジャーとしてとらえるような意識の変化があると思います。そういう意味でわれわれの側がそれに対応した商売をやっていないのではないか。もう一つは品物の豊富感を与えていないことだと思いますね。

斎喜　商店がその時期に応じ、店内の陳列方法や品ぞろえにアイデアを生かし、店の特徴を印象づける努力が足りないのではないか。もう一つは、道路事情が良くなり、婦人層がバイクや車に乗って他の地域に買物に行けるようになったことも要因の一つだと思います。

司会　それでは、地元での消費を多くするためにはどのようなことをお考えですか。

太島さん

太島　大手ではできないお客様本位の消費者サービスと対面販売を生かした商売をしていくことですね。小回りのきく商法といいますか。

斎喜　これからの商売は値段で勝負をしていたのでは、お互いの首を絞める結果になってしまうと思う。大型店にはなくわれわれにしかできない消費者サービスを。例えば配達や空ビン回収など消費者が欲していることに対して、いかに迅速に対応できるかが今後の商売につながると思います。

片桐　個々の商店がいかに魅力をもつかということと、商店街としての魅力を持つことだと思います。そして、常に地元と密着しお客様に対しノウハウを提供していかなければならない。その点、われわれはもっと勉強する必要があると思う。大型店に人が集まるのは、価格が安いということだけではないですし、その周辺の専門店では売り上げを伸ばしている例が多いですから。

長谷川さん

長谷川　大型店（ライオンドー等）と比べても、個店の品ぞろいなどの点では、中里村の商店街も負けないのではないか。今の現状では、個々がバラバラで全体的な形成に欠けているのでこれからは商店街等をいかに形成し魅力をもたせるかだと思う。このままではお客様が他地域に流出すると思う。

斎喜　消費者が自分の店にない商品を買いに来たとき「それはどこどこの店にありますよ」と親切に教えてあげるくらいの気持をもつことがたいせつだと思いますね。消費者に好感を与えなくてはいけません。

太島　中元売り出しや歳末売り出しの時、全商店がそろいのハンテンを着るとか旗を出すことなどで商店街のイメージアップを図らなければ。また、店員のユニホームの統一なども必要ではないでしょうか。このほかには、共同仕入などを検討し、少しでも安く商品を提供することも考えなくてはならないと思います。

片桐　今までの話し合いは、お客様が他地域へ行くという観点からの話合いだったが消費を伸ばすことを考えていかなければならない。そのためには、地元の活性化を図り消費の底を上げることだと思う。商店も企業誘致や農業問題、観光問題にも積極的に参加していく必要があると思う。

斎喜　大きな意味でいえば村民が一体とならなければならない。商店、農家が個々に現状の問題点だけを考えても少しも解決しないと思う。みんなが一つの土俵の上にあがって村づくりを考えていかなければならないと思いますね。

司会　青年部としては、今後どのような活動を展開していく予定ですか。

太島　消費者サービスの一環として、今後も生活講座を開いていきたい。また消費者のニーズに合った感謝祭等も計画していきたい。

片桐　国道一一七号線の拡幅についてアンケートをとったことがあるのですが今後も消費者のニーズ、あるいは地域を考えるというテーマを持ち続けていきたい。

司会　若い皆さんが活動していく中での問題点は、

太島　今回、青年部で企画しましたオープンフェスティバル等についても、同じ商店の人たちの参加が少なく、青年部の活動をみんなで盛り上げようという意識が薄いですね。

斎喜　青年部に関していいますと、今までは親まかせで気軽に商売を考えていたと思うんですよ。これからは自分の商売なんだという意識を皆がもつことがたいせつだと思います。

青年部員同志、腹を割った話合いをし、お互いに助け合い共に伸びるという意識をもつ必要があると思う。

司会　それでは、最後に魅力ある商店街づくりについてお伺いします。

片桐　共同店舗とか協業化がうんぬんされますがそれは両刃の剣だと思います。建物や売場が新しくなってもどういう店舗、商店街づくりをするのかという構想を持たなければ難かしいと思います。また、共同店舗としてひとつだけ大きなものをつくってもその周辺で店舗の数が少なくなれば商店街としての意味が失われてしまう。国道一一七号線の拡幅問題を契機に、みんなが本気になってどのような商店街づくりをするのかを考えていく必要があると思いますね。

魅力ある商店街に

斎喜さん

斎喜　隣の津南町が国道拡幅によって商店街が整備されましたが、売り上げはあまり伸びていないようです。こうして見ますと、ただ漠然とした考え方で商店街を形成しても売り上げ増に結びつかないことがわかります。個々の商店が個性をもたなくては。

太島　中里村の商店街を再編成する場合、田沢地区の路線商店街を中心に、倉俣、貝野、清津峡の各地区に地域の核となるワンストップショッピング（ほとんどのものが間に合う）の場を設け同業者同志の連携を強力にし共同仕入、協業化等で地域に密着した販売促進をしていかなければ。もう一つはAコープチェーン（農協）と地元商店街のあり方を考えていく必要があると思う。

片桐さん

片桐　農協に敵対意識をもつのではなく、地域の中で共に伸びていくためには農協をどのように位置づけ生かしていくかを考える必要があると思う。農協を核とした商店街づくりも一つの考え方だと思う。

斎喜　農協を中心とした商店街づくりをする場合は十日町・津南町など他の地域からもお客を呼ぶようにしなければ地元商店街のメリットはないのではないか。

片桐　もちろん中里村だけではだめだ。マーケットエリアを広げる必要がある。

斎喜　仙台の七夕のような大きな祭りが中里村にも欲しいですね。清津峡まつりも村全体のまつりにし、みんなで盛り上げる必要があると思う。この前商工会が開催した講演会の講師が中里村には全然個性がないと言われました。まったくその通りだと感じました。われわれはもっと地域を見つめ、村内に埋もれている資源を活用した村づくりをしたいものです。

片桐　これからの観光開発は広域的な観点に立って考えていく必要があると思う。単に清津峡や七ツ釜だけでなく、中里村、津南町湯沢町を一つの観光地帯として考えていかなければならないのではないか。

長谷川　活力ある商店街づくりをするためには、お客様に対する接客マナー、商品管理等に心がけお客様の気持をつかまなければならないし個々の振興の観点ではなく中里村を統一的にとらえ、その中での商店街づくりを考えていく必要がある。

司会　みなさんの将来に対する前向きの意見を伺いまして力強く感じています。今後とも商店街づくり、村づくりにご尽力ください。本日はたいへんありがとうございました。

活力ある村づくりを

中里村長
上村賢造

新年おめでとうございます。皆さまにはお揃いにて輝かしい新春を迎えられたこととお慶びを申し上げます。新年にあたりまして一言抱負を述べさせていただきます。

現在、村では統合中学校建築を進めていますが、今年は最後の年といたしまして体育館とグランドを完成させ、りっぱな教育の場を作りあげたいと考えています。

さて、昨年、長野県の栄村と越後湯沢駅を結ぶ定期バスの運行が、近隣町村の要望により実現しています。更に今年は増便を要望するとともに、国道353号線の冬期無雪化を要望し、高速交通時代に対応した村づくりに邁進したいと考えています。また、国道117号線の改良、新清津橋の架け替え倉俣地内の県道の改良など道路整備は地域発展に欠かせない重要な課題でありますので実現のために積極的に努力いたします。

現在、県営事業で広域農道を進めていますが、桔梗原と芋川間に新橋を架設して南北両段丘地の農業振興を進めるとともに、地域交通の利便を図って参ります。

観光面では、昨年、田沢本村に田沢虚空蔵菩薩公園を完成させましたが、今年からは、当間山麓開発に力を入れ将来的には、スキー場、林間スポーツ施設等を計画し、進めていきたいと考えています。

村財政の厳しい中ですが、住みやすい郷土建設のために全力を尽くして参りますので、村民のみなさまのご協力をお願いしまして新年のあいさつといたします。

大きな役割を担う林道

林道の果す役割の中には、森林資源の活用の他に公道としての役割や観光資源開発などの目的があります。村内には、現在十本の林道が開通または開設中です。今回はこの林道を紹介します。

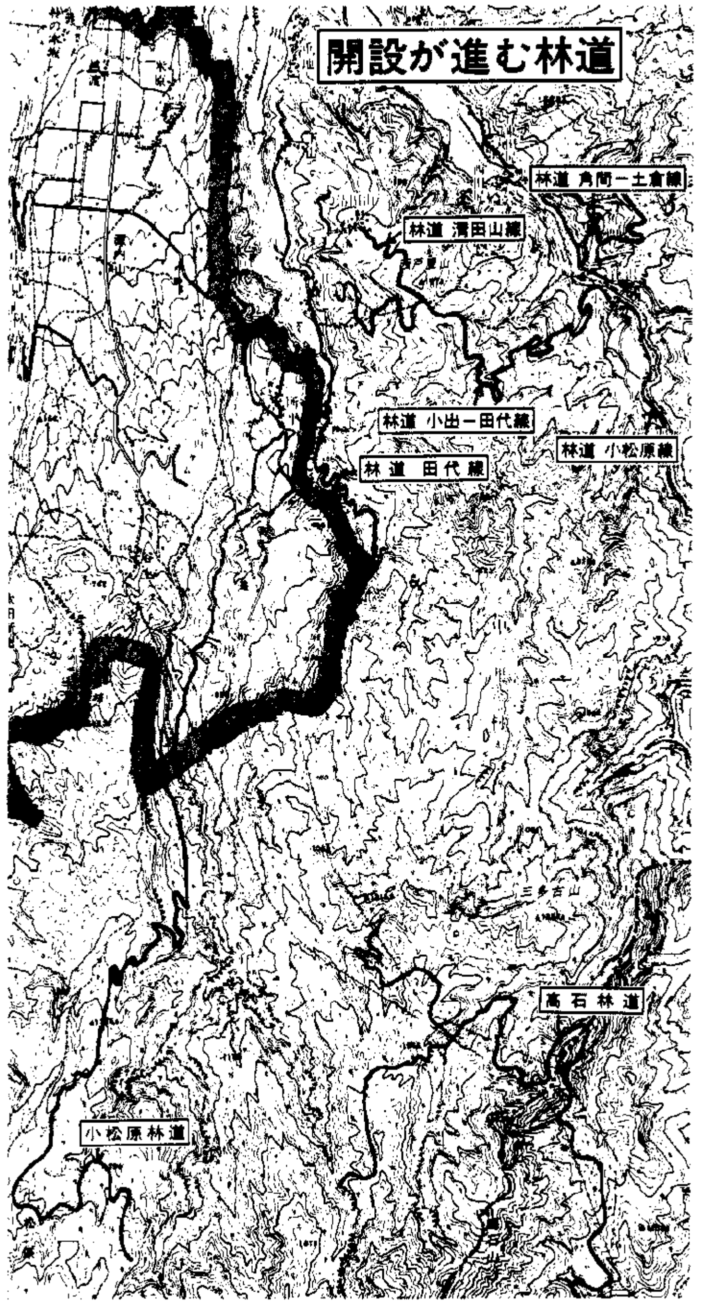
私たちは、緑豊かな環境の中で生活をしているため緑のたいせつさに案外気ずいていません。しかし、森林資源などの緑が自然界に与える効用は大きいものがあります。森林資源は、単に木材や紙の原料供給だけでなく、**国土の保全、水資源のかん養、自然景観の保持、レクリエーションの場**の提供など私たちの生活と切り離して考えることができません。

中里村の森林面積は、総面積の七八・九%にあたる一〇一平方㌔（この内、国有林が約七〇%）です。この広大な森林面積の有効活用を図るためには林道網の整備が必要です。当村でもこうした認識に立って林道網の整備を進めています。

林道総延長三十一・八㌔

中里村には、現在、十本の林道があり、その距離を合せますと三十一・八㌔となります。また、これらの林道の開設によって、二千六百二十一㌶の山林が有効活用されています。

林道開設の目的には、森林の有効活用による林業振興はいうまでもありませんが、それに付随して、地域交通の改善、地域産業の振興、観光資源の開発など、大きな役割があります。

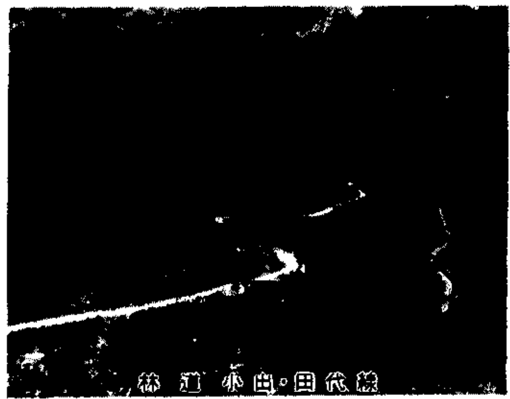


主な林道の紹介

★林道清田山線

昭和四十七年に開通した林道清田山線は、清田山集落から、林道小出－田代線につながる延長千七百八十二㍍、幅員三㍍（開設当時は約三㍍の林道でしたが現在は一部小出－田代線に路線変更済）の林道です。現在、清田山側から改良工事を行うとともに舗装工事を進めています。

この林道開設によって、三十七㌶の森林の活用が図られる一方、清田山自然運動公園と清津峡、七ツ釜を結ぶ路線として重要視されています。


林道 小出・田代線

林道 田代線

★田代線

林道田代線は、県道中深見越後田沢停車場線の七ツ釜入口から国有林内にある高石山麓につながる林道で現在、四・五㌔の開設が進んでいます。この林道は、湯沢側から開設された高石林道と結ばれ、更に津南側から開設されている小松原林道とも結ばれます。

現在、開設作業は中里村側と湯沢側の両方から行われており、あと五㌔ほどで開通する予定です。これによって、中里村、津南町、湯沢町を含めた広域観光開発地帯として有望視することができます。

当村は、この区域内に小松原湿原・七ツ釜という有望な資源をもっています。これをいかに生かすかが、今後の大きな課題といえます。

★小沢・東山線

堀之内集落から松之山町東山を結ぶこの林道は、昭和四十八年に中里村側（郡境まで）が開通し、その後松之山側の開設が進み、昭和五十四年に全線が結ばれました。中里村側の総延長は、五千四百六十八㍍で幅員三・六㍍の林道です。この林道開設によって、約二百七十八㌶の森林の活用が図られる一方、農道としても大きな役割を果しています。また、この林道からの奥深い、山なみの眺望はすばらしく、将来、川西町と津南町を結ぶ稜線に林道等が通れば、観光面にも期待がもてます。

★角間・土倉線

林道角間・土倉線は、角間集落と土倉集落を結ぶ林道で、現在までに四・一㌔が開設され、あと約一・六㌔で開通する予定です。

これによって、百七十六㌶の森林が生かされるとともに、農道としても大きな役割を果します。また、林道が結ばれることによって土倉・倉下集落への道路が二本確保され、集落の人たちの孤立感の解消と交通確保に大きな役割を担うことになります。

★小出・田代線

林道小出・田代線は、小出集落と田代集落を結ぶ延長八千二百十㍍、幅員三・六～四・〇㍍の林道です。

この林道開設によって、百八十三㌶の山林が活用されるとともに、倉俣地区、清津峡地区への迂回路としても重要視されています。

更には、清津峡・七ツ釜津南町年金保養基地を結ぶ観光ルートとしても大きな期待がもたれています。

現在、こうした観点に立って村では舗装工事を進めています。

★小松沢線

林道小松沢線は、清津峡温泉から大原（小出の原）に通ずる延長六百二十五㍍、幅員四・〇㍍の林道です。

この林道は、森林の有効活用とともに、小出・田代線に通ずる近道となり、今後清津峡を中心とした観光開発に大きな役割を果すものと思われます。

森林資源を生かそう

わが村の発展を考えるとき、こうした森林資源や谷を流れる川を生かした独特な観光開発も必要なのではないでしょうか。

緑がない所には、所詮人間は住めないのです。私たちがふだん何とも思っていない物も、逆に見るととても重要なことが多いものです。村を良く知り、埋もれた資源の活用を図りたいものです。

村内の河川大腸菌うようよ

清津川や信濃川のような大きな河川では、自然の浄化力も強く、現在でも比較的きれいな水質が保たれています。しかし、村内を流れる小河川を見ますと、水量が少ないところに家庭用の雑排水が流れ込むため相当に汚染が進んでいます。

村ではこうしたことから村内の小河川の汚染状態を知るために、五つの川で水質検査を実施いたしました。

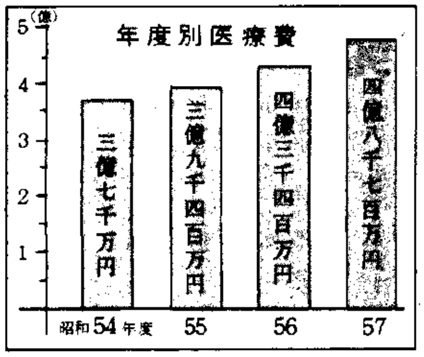
検査の結果、BOD（微生物が分解できる有機物の量）が大門川を除いては基準以上の数値を示し、総チッ素量（農薬・肥料・し尿の混入）では、川下の小原地内を流れる川では、〇・四二mg/lと高く基準をはるかに超えています。また、大腸菌（人・家畜の廃せつ物の混入）にいたっては、どの川も基準値を大きく上回っています。

検査結果を全般的に見ますと、どの川も、家庭からの雑排水や肥料・農薬などが相当流れ込んでいることがわかります。この川の水はもちろん生活飲料水としては使用できませんし、魚貝類の生息をも脅かしています。生物が住めないということは、人間への環境の悪化を警鐘していると考えられます。

美しい川をよみがえらすためには、下水処理施設等を考えていかなくてはなりませんが、それよりも先に、村民のゴミに対する認識を深めていただきたいものです。

検体＼項目	PH (℃)	BOD (mg/l)	SS (mg/l)	ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)	総チッソ (mg/l)	大腸菌群 (個/100ml)
1. [illegible]	7.0(20)	2.0	16	検出せず	0.08	40,000
2. 大門川	7.0(20)	1.6	19	〃	0.16	79,000
3. 七[illegible]川	7.1(25)	2.2	11	〃	0.20	350,000
4. 小原地内	7.0(20)	2.5	12	〃	0.42	40,000
5. 山ノ[illegible]	7.0(20)	2.5	18	〃	0.10	24,000
基準値	6.5～8.5	[illegible]以下	[illegible]以下	定量限界1.0mg/l	無し	[illegible]

医療費の増、保険税に影響



最近、五十歳代～六十歳代の人が、ガンなどの重い病気で入院するケースが増えています。今日の医療技術には目を見張るものがあり、それに伴い手術等も高度化し、相当の人たちの病気が治っています。しかし、その反面、医療費は高額となり、ガンで手術をし、一ヵ月入院しただけで二百万円もの医療費がかかったケースもでてきています。

昭和五十七年度の総医療費と昭和五十六年度の総医療費を比べますと、昭和五十七年度の総医療費が四億八千七百五十七万円で五十六年に比べて一二%と増加しています。

医療費の増大は、皆さんから負担していただく保険税のアップにつながります。

昭和五十四年度の一世帯あたりの平均保険税は、七万九千九百二十二円ですが、昭和五十七年度では、十一万二千百九十七円と増えています。

みなさんが医療機関に支払うのは三割ですがあとの七割は、村の国保会計から支払っています。国保会計は、国、県からの負担金や補助金と、皆さんから納めていただく貴重な保険税で賄われています。したがって医療費が増大してもその分だけ、国や県からお金が入りませんから、当然保険税を上げることになります。

自分の健康は自分で

医療費を少なくするためには、自分の健康は自分で守るという気持をもつことがたいせつです。

村では、みなさんの健康保持のために各種の検診などを行っています。

まずは、こうした検診を率先して受け、病気の早期発見と早期治療に心がけることがたいせつなことではないでしょうか。

村の将来を検討する人たち（審議会）

明日の中里村を築くために

村では昭和七十年度を目標とした中里村総合開発計画の策定を四月から進めています。

昭和四十年代のわが国の高度経済成長と内外の諸情勢の変化は、わが中里村に若年人口の村外流出を起し人口の高齢化、過疎化現象を生じさせる一方、産業構造、生活様式にも大きな変化をもたらしました。

このように現在の社会情勢は、目まぐるしく変化しています。この変化する社会情勢の中で暮らしやすい郷土を作りあげるためには村の将来を展望した計画を持たなければなりません。

この計画は単に役場職員など一部の人たちの机上のプランでは実行が不可能です。

村では、こうした考え方の上に立って、住民の意見を取り入れた計画にするために、七月の中旬、村内の六会場で広聴会を開催いたしました。また、役場職員による職員参加を広く求めるとともに、総合開発計画策定幹事会を設置し、計画を練ってきました。

この度、基本構想㊤がまとまり村長から総合開発計画審議会に諮問されました。審議会では、部門別（総合教育、生活環境、厚生、産業部会）に分かれて諮問内容を検討し、二月の下旬に村長に答申する予定です。

村では、答申内容を検討し三月の定例村議会に上程する予定です。

三つの計画で

★基本構想（S59～S70）

村の将来の展望に基づきこれを達成するための基本施策の大綱を定めたもの

★基本計画（S59～S63）

村行政の方向を示し、多様化する各部門ごとの施策手段を体系化して、これを調整するものとし、合せて施策の大綱、総量および、根幹的事業を示すものです。

★実施計画（S59～S61）

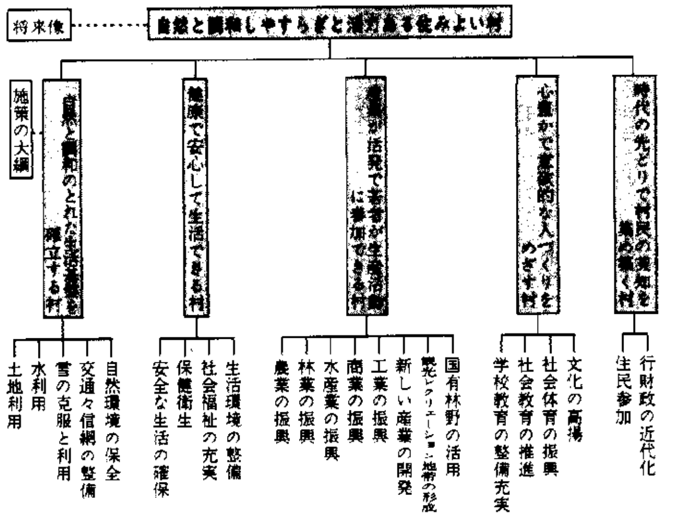
基本計画に定められた施策を現実の村行財政の中でどのように実施していくかを明らかにするものです。

自然と調和しやすらぎと活力ある住みよい村

基本構想㊤の将来像には〝自然と調和し、やすらぎと活力ある住みよい村〟を設定し、その下に五つのテーマ（施策の大綱）が掲げられています。

左図のような体系図のもとに中里村の将来計画策定が進められています。

基本構想体系図㊤



危ない ―事故多発―

十日町警察署管内の交通事故は、十二月二十七日現在、発生件数百七十八件、死者九人、負傷者二百十一人を数え、一昨年をすでに上回っています。特に死亡事故は、五十七年の四人に対し、五十八年はすでに九人と痛ましい結果となっています。

当村も、事故発生件数十三件、死者一人、負傷者十三人と前年を大きく上回っています。

全国で一年間に交通事故で死亡する人は九千人におよんでいます。九千人というと中里村の人口の他にあと二千人もの人が死亡することになります。

交通事故は、本人のチョットした脇見やブレーキ操作の誤まりなどで起きています。運転に自信過剰は禁物です。いつも笑顔の家族を思い浮べてから運転しましょう。

飲酒運転検挙者 村内で十六人

これほど飲酒運転をしてはいけないといわれていても飲酒運転は減りません。

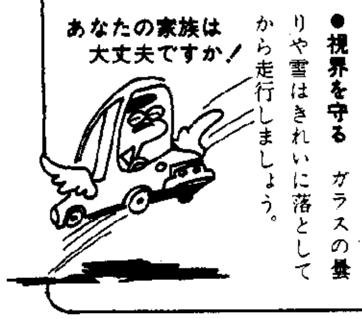
十日町管内では、飲酒運転による事故が七件発生しています。また、中里村の飲酒運転による検挙者数は十六人で川西町八人、津南町十五人に比べて非常に多くなっています。

なぜ、減らないのかを考えてみますと〝捕まりさえしなければ〟という安易な考え方が根底にあるようです。事故を起こしてからの後悔では遅すぎるのです。地域ぐるみで飲酒運転を無くし、悲惨な交通事故を減らすように一声かけ合いたいものです。

★冬場の運転メモ

●スリップ注意 急ハンドル、急加速、急ブレーキはたいへん危険です。

●視界を守る ガラスの曇りや雪はきれいに落としてから走行しましょう。


あなたの家族は大丈夫ですか！

伝統を受継ぐ校章決まる!!

統合中学校

昨年の五月に中里中学校（昭和六十年四月開校）の校章図案を募集したところ中学生百三十七点、小学生一点、一般十一点、計百四十九点の応募がありました。

校章制定にあたっては、新設中里中学校の校章として、新鮮で気品のあるもの。中里村の中学校としての意味づけ、デザイン的に調和のとれたものということで校章制定委員会が慎重に審議し選定にあたりました。

選定の結果、優秀作品三点（内一点採用）と優良作品八点が選ばれました。

選定結果

★採用作品

山本幸二　田沢(中)一年

★佳　作

桑原賢司　高道山(小)教頭

鈴木淳次　倉俣(中)三年

★優良作品

江口伸之　干溝

石沢義雄　田中

小林克彦　田沢(中)三年

山田直光　田沢(中)三年

広田清子　田沢(中)一年

南雲康弘　倉俣(中)二年

藤田信行　貝野(中)二年

保坂みゆき　貝野(中)一年

なお、優秀作品三点（採用作品一点、佳作二点）の表彰は一月中に行われる予定です。

中里中学校の建築は、昭和五十五年度に用地を買収して以来、五十六年度に敷地造成、五十七年度～五十八年度に校舎棟が完成しています。更に昭和五十九年度に体育館とグランド造成を行う計画です。校舎の建設とともに三中学校の生徒の交流会等も予定されています。

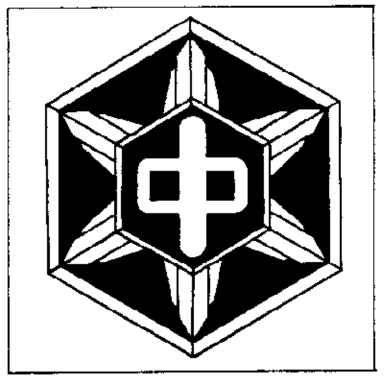
とてもうれしい ガンバラなくては

田沢(中)1年

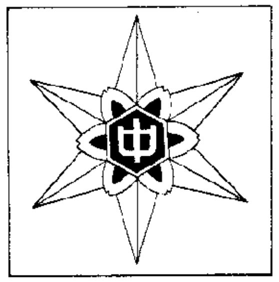
山本幸二君

先生から自分の作品が選ばれたということを聞いたときは信じられない気持でしたが、次第にうれしさがこみあげ「ガンバラなくては」と思いました。このデザインは、外側の六角形が雪の結晶を表し、中の六方向へ伸びるヤリ状のものが、清津峡の岩と村内の山々を表わし、みんなが自由に育っていくことを意味しています。

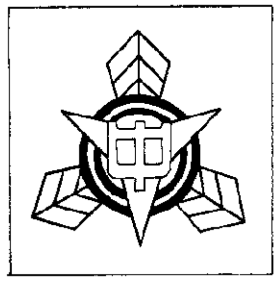
これを機会に何事にもガンバッていきたいと思います。



▲山本幸二君の作品



桑原賢司さんの作品▶



◀鈴木淳次君の作品

寒さが大敵 脳卒中に注意を

〝雪やコンコン、あられやコンコン、わーたしはコタツで丸くなる〟寒ーい冬、私たちはとかくコタツで丸くなりがちです。〝冬になると肥っちゃって〟という婦人の声を耳にしますが肥満は、身体中の全てに悪影響を与えます。ラジオ体操などをして身体を動かしましょう。

冬場コタツに入りながら近所の仲間たちとの茶飲みは楽しいものですが、この時でる〝自慢の漬物〟が塩分の取り過ぎを招きます。煮物などはなるべく薄味にしたいものです。

室内の温度が、十五度C以下になったらストーブをつけて部屋を暖めましょう。

脳卒中で倒れる人の多くが風呂場や便所です。寒暖の差には十分注意しましょう。特にお年よりは、深夜便所に行く時などは、一枚余計に着ていくように注意しましょう。

ワタシタチ
塩イラナイ

民生委員紹介

民生委員は、社会奉仕の精神をもって、保護指導にあたり社会福祉の増進に努めることを目的としています。民生委員は、厚生大臣から委嘱されます。

民生委員担当地域分担

集落	氏名	電話	担当地区
田沢	浜野孝司	(63)−2175	芋沢・田沢・東田沢
如来寺	竹藤邦吉	(63)−2331	如来寺・豊里
桂	山本ケン	(63)−2407	上山・桂
干溝	江口行男	(63)−3437	田中・小原・干溝
荒屋	服部ネン	(63)−3247	山崎・通り山・荒屋
朴木沢	樋口源二郎	(63)−2681	高道山・朴木沢・朴木沢新田 桔梗原・芋川新田
白羽毛	樋口永蔵	(63)−3859	白羽毛・鷹羽・市之越・程島
東田尻	清滝和雄	(63)−3828	東田尻・西田尻・西方
小出	山本雅朝	(63)−3780	小出・葎沢・角間
土倉	山田伊和男	(63)−3756	土倉・倉下
芋川	根津敬	(63)−2093	芋川・原町
倉俣	斉喜正甫	(63)−2519	倉俣・新里
重地	鈴木源平	(63)−4043	重地
清田山	山田栄一	(63)−4185	清田山・下山
田代	滝沢栄春	(63)−4169	田代
宮中	藤田義一	(63)−2301	宮中
堀之内	南雲敬一	(63)−3653	堀之内・小沢
新屋敷	阿部ヨキキ	(63)−3664	新屋敷・本屋敷

みんなのひろば

飲食店の閉店時間は 午後十二時です

飲むほどに酔うほどに、〝はしご酒〟をやりたくなるあなた。飲食店の閉店時間をご存知ですか。閉店を承知で無理矢理中へ入るなんていうことはありませんか。飲食店の閉店時間は法律で定められています。

★飲食店（スナック・食堂ETC　午後十二時

★風俗営業の許可を受けている店

午後十一時

閉店時間の厳守にご協力をお願いします。

また、最近はカラオケがブームですがカラオケ騒音は、殺人事件が起きるほどの大きな社会問題となっています。隣近所への迷惑を考えて、遅くなってからのカラオケは慎みましょう。

十日町警察署

中里村飲食店防犯組合

新婚さんいらっしゃい！

東田沢

服部彦一さん
美知子

スキー場で彼氏を見つけたかったという美知子さん。美知子さんが友達五人で石打丸山スキー場に行った時、ホテルの運転手として働いていた白いジャンバーが良く似合う彦一さんにひかれたといいます。

二人の愛は急速に進みましたが、美知子さんは二人姉妹の婿とり娘、彦一さんの必至の長岡通いが功を奏して「娘の幸せのためなら」と、美知子さんの両親の承諾を得たといいます。

交際を続けている内に、「この人なら、こんな山の中でも俺についてきてくれると思った。」という彦一さん、「来たばかりのころはそばに家も無く寂しいので長岡の方を向いて泣きました。」と美知子さん。サラリーマンの奥さんを夢見ていた美知子さんは「理想と現実とは大違い。けど、やさしい彦一さんがそばにいるから。」と、すっかり東田沢の嫁さんになっていました。

消費者に喜ばれるサービスを

消費者の立場に立ったサービスを

商工会館の完成を祝す、オープンフェスティバルが十二月八日、新しくなった商工会館で開かれました。

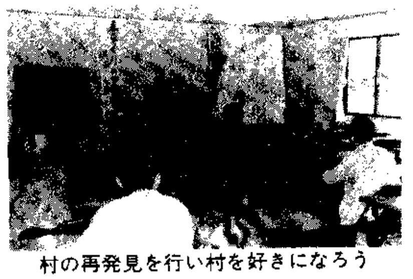
フェスティバルの第一部は、商工会青年部の有志が講師となって、おいしいパンの選び方、クリーニングの知識と衣類の保存方法、食品全般の知識、ガス機器の基礎知識、簡単にできる魚料理を一般の人たちにわかりやすく説明をし、第二部ではパーティ（カラオケダンス）が行われました。

このフェスティバルには家庭の台所を預る主婦を中心に三十五人が参加しました。演の中では、顔見知りの人も多く、講師に逆に教える場面もあって和気合々と行われ、参加した主婦の一人は「とても参考になりました。どんどんこうした催をやってほしい。」と話してくれました。

中里村の商工業の振興を担う青年部の皆さんの活躍を期待いたします。

村づくりは人づくり

「村を良くするためには、村のことを良く知って好きになることだ。そして肝心なことは、村をよくしようとする人づくりと、他人のことを思いやられる心づくりだ。」と、12月7日商工会主催の講演会に訪ずれた萩原茂裕先生は聴集者に強く訴えかけられました。



村の再発見を行い村を好きになろう

いらっしゃいませ！おいしいよ

子どもたちが祭りの主役

「ネェーお母さん似合うでしょう。」ハチマキ姿もピタリと決まったチビッコのお店やさん。「いらっしゃい。」の掛け声にお母さんたちのほほもゆるみます。これは、12月15日に行われた南保育所の楽しい〝子どもまつり〟の模様でした。

「メーン」気合で寒さ吹き飛ばす

恒例の田沢剣道スポーツ少年団の寒げいこが1月3日に行われ、チビッコ剣士17人が田沢(小)体育館で初汗をかきました。練習を終えたチビッ子剣士の頭からは湯気が上がり、練習の激しさが感じられました。練習を終えてからのカップラーメンはとてもおいしそうでした。

ガマン・ガマン　けど寒ーい

古切手ありがとう

九月の広報紙で東南アジアの貧しい子どもたちのために〝古切手〟の収集をお願いしましたところ、次のみなさんからご協力をいただきました。

社会福祉協議会では、さっそく日本キリスト教会海外医療協会を通じて送りました。

★協力してくれた人たち

荒　屋　山田正人
上　山　中里村農協
如来寺　富井午三
上　山　江口ツヤ
宮　中　藤田　睦
東京目黒　山田国平
東京清瀬　山田リン

中里村社会福祉協議会

竹を上手に割るのがコツ

竹細工にかけては、村内でも右に出る人はいないといわれている堀之内の南雲海造さんを尋ねました。

竹細工のコツは「竹を上手に割ることですね。昔から千本の竹を割らないとだめだといわれています。竹を切る場合でも、陽の当らない所の竹は割れが悪いですね。」どんな物を「ザル、手カゴ、各種のカゴ、ビクなど竹細工ならほとんど作ります。その中でも一番難しいのは、魚とりのビクですね。」竹細工品の良さは「竹で作ったものは、温かみがありしかも使うほどツヤがでてきて良くなります。今でもビニール製品よりも良いといって毎年注文してくれる人がけっこういます。」竹細工をやる人も少ないのでは「竹細工やワラ細工の技術がすたれたり、昔の生活用品が無くなるのは寂しいですね。」と話してくれました。

農業に生きる

桂
樋口鶴松さん

昭和二十年代までは、リュウキュウ（いぐさの一種）を栽培し、ゴザを織ったり清水を利用して大崎菜の栽培をしていたという桂の樋口鶴松さん。

樋口さんは、水田六十アール、ユリ四十アール、杉苗五十アール、スズラン十アールを栽培する農家です。

スズラン（ドイツスズラン）の生産は、全国の七〇%を占めているそうですが「スズランというと北海道を連想しますが、中里村のスズランが北海道へ出荷されています。スズラン栽培のきっかけは、すぐ近くの山本茂穂さんが『スズランてんの作ってみようじゃねか。』と声をかけてくれたのが始まりです。冷涼地を好むスズランは、当村に適した作物だと思います。スズラン栽培を農家に広め、スズランの特産地として中里村の知名度を広めたい。」

産地づくりには「どんな作物に取り組む場合でも、個人的な考え方で行動されると産地づくりは不可能です。栽培農家が話し合い、研究し合っていかなければなりません。」と話してくれました。

㊟人・生・往・来

＊おめでた＊

美　幸（村山和博）東田沢
美　穂（桑原　薫）田　代
瞳　（井之川明）豊　里
亜　矢（樋口正和）小　原

＊ご結婚＊

（桑原　昭　倉　俣
（田川　豊子　十日町市
（江口　良雄　上　山
（根津　弘子　原　町
（山本　敏男　葎　沢
（大口カツ子　津南町

＊おくやみ＊

羽鳥与五郎　79　新屋敷
広田　イツ　78　千　溝
根津　リヨ　74　芋　川
渡辺　ヨシ　80　宮　中
山田美和子　6　田　代
石沢松太郎　63　田　沢
滝沢　鼎平　81　田　中

雪おろしの転落事故に気をつけて

本格的な降雪期を迎え、各地で雪おろしが始まりました。先般、田沢で屋根から転落して一人が亡くなっています。雪おろしには十分注意してください。ちょっとした油断が大事故の元になります。お互いに注意しましょう。

行事予定表

おもしろい行事などがありましたら
取材に行きます。連絡をください。

※変更することがあります。
・御用の際は担当課で確認を。

11(水)	鏡開き
12(木)	
13(金)	心配ごと相談日（老人福祉センター 13:00～16:00）
14(土)	とり追い
15(日)	休日救急医（第2藤巻医院 68－2018） 成人の日　　どうらく神焼
16(月)	休日救急医（富田医院 52－3269）
17(火)	
18(水)	
19(木)	
20(金)	妊婦検診（上村病院 13:30～14:00） 母親学級（産褥と赤ちゃんの保育　上村病院 12:30～13:00） 心配ごと相談日（老人福祉センター 13:00～16:00） 農地転用許可申請〆切
21(土)	
22(日)	休日救急医（中条病院 57－3018）
23(月)	
24(火)	全国学校給食週間
25(水)	認可保育所入所面接相談日
26(木)	文化財防火デー
27(金)	心配ごと・行政相談日（老人福祉センター 13:00～16:00） 国旗制定記念日
28(土)	
29(日)	休日救急医（大島医院 52－2957） 村民スキー教室(基礎)（八箇スキー場 8:30総合センター集合）
30(月)	
31(火)	
1(水)	
2(木)	
3(金)	心配ごと相談日（老人福祉センター 13:00～16:00）
4(土)	村民スキー教室(ポール)（八箇スキー場 13:15総合センター集合）
5(日)	休日救急医（上村病院 63－2111）
6(月)	移動交通事故相談所（十日町市役所 10:00～15:00）
6(月)	
7(火)	
8(水)	
10(金)	心配ごと相談日（老人福祉 センター 13:00～16:00） 農業者年金、農地相認日（役場農政課）